**「標準原価計算」における原価管理**

〈課題〉

　当社では標準原価計算を用いて原価管理を行っており，会計部門が毎月の月次決算から差異分析を行っている。しかし，昨今はさまざまな理由から標準原価と実際原価の差が埋まらないのが現状である。そこで，会計部門から製造部門に対して，差異の分析と改善要求があった。算出された標準原価と前月の実際原価の資料から差異を分析し，製造現場における次月への改善方法を検討し，改善案シートを作成しなさい。

〈差異の計算と分析〉

次のＡ製品の資料により，各原価差異を計算しなさい。ただし，（　　　）の中に不利差異の場合は「不利」を，有利差異の場合には「有利」を記入すること。

資　　　料

　Ａ製品　　　　　　　　標準原価カード

　　　　　　　標準単価　　標準消費数量　　金　　　　額

　直接材料費　　　￥２００　　　 ２０ｋｇ　 　 ￥４，０００

　　　　　　　　 標準賃率　　標準直接作業時間

　 直接労務費　　　￥３００　　　　１０時間　 ￥３，０００

　　　　　　　　 標準配賦率　　標準直接作業時間

　 製造間接費　　　￥１００　　　　１０時間　 　￥１，０００

　　　　　　　　 　製品１個あたりの標準原価　￥８，０００

　［生産データ］

　　月初仕掛品　　なし

　　月末仕掛品　　４台（加工進捗度５０％）

　　完成品数量　９６台

　［前月の原価に関するデータ］

　　実際直接材料費：\441,000（実際消費数量　2,100kg　実際単価　\210）

　　　直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

　　実際直接労務費：\325,500（実際直接作業時間　1,050時間　　実際賃率　\310）

製造間接費実際発生額：\105,000

　　製造間接費予算額：\110,000（変動費率　\40　固定費予算額　\66,000）

　　基準操業度（直接作業時間）：1,100時間

【資料１（個人）】

〈差異の分析〉

|  |  |
| --- | --- |
| 直接材料費差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 材料消費価格差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 材料消費数量差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 直接労務費差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 賃率差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 作業時間差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 製造間接費差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 予算差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 能率差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |
| 操業度差異 | 　￥　　　　　　　　　　　（　　　　） |

［計算スペース］

【資料２（グループ）】

〈原価差異の要因〉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　班

☆不利差異（標準原価よりも実際原価の方が大きい）の要因は？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分類（要素） | 種類 | 要　　　因 |
| 直接材料費差異 | 材料消費価格差異 |  |
| 材料消費数量差異 |  |
| 直接労務費差異 | 賃率差異 |  |
| 作業時間差異 |  |
| 製造間接費差異 | 予算差異 |  |
| 操業度差異 |  |
| 能率差異 |  |

〈担当要素：　　　　　　　　　　　差異〉について改善策を考案しよう。

○個人で記入した付箋を貼り付けよう。

個人意見提案表

|  |
| --- |
| 提案者① |
| 提案者② |
| 提案者③ |
| 提案者④ |
| 提案者⑤ |

【資料３（グループ）】

　　　班

☆考えられる要因ごとに類似する改善案をまとめよう。

|  |  |
| --- | --- |
| 要　因 | 改善案 |
|  |  |

**〈改善案シート〉**　　　　　　　　　　　　　班

次のように改善策を提案します。

|  |  |
| --- | --- |
| 対象とする差異 | 差異 |
| 改善策の具体案 |  |

【資料１（個人）】

〈差異の分析〉

|  |  |
| --- | --- |
| 直接材料費差異 | 　￥　　　４１，０００　　（　不利　） |
| 材料消費価格差異 | 　￥　　　２１，０００　　（　不利　） |
| 材料消費数量差異 | 　￥　　　２０，０００　　（　不利　） |
| 直接労務費差異 | 　￥　　　３１，５００　　（　不利　） |
| 賃率差異 | 　￥　　　１０，５００　　（　不利　） |
| 作業時間差異 | 　￥　　　２１，０００　　（　不利　） |
| 製造間接費差異 | 　￥　　　　７，０００　　（　不利　） |
| 予算差異 | 　￥　　　　３，０００　　（　有利　） |
| 能率差異 | 　￥　　　　７，０００　　（　不利　） |
| 操業度差異 | 　￥　　　　３，０００　　（　不利　） |

［計算スペース］